

## 令和元年度 RPA 導入 8 業務の効果及び調査・集計業務等への本格導入

### 1 趣旨

反復定型業務等を自動化する R P A (Robotic Process Automation) について、令和元年度に導入した 8 業務における運用開始後の導入効果等を分析したところ、8 業務全体での年間処理時間で約 8 割の削減（含む見込）効果が認められた。

作業ミスや入力誤りの削減、業務プロセスの見直しによる事務負担の軽減といった業務効率化の効果も認められることから、令和 2 年度中に全庁の調査・集計業務等に RPA を本格導入する。

### 2 R 元年度導入 8 業務の導入効果等

#### (1) 手作業時間（年間処理時間）の削減

- ・令和元年度に導入した 8 業務の手作業による年間処理時間が、合計で 2,034 時間、85%削減見込
- ・超勤時間の削減・抑制への寄与、施策の企画立案業務・新規事業の対応等への重点化

（単位：時間）

類 型	対象業務	導入前 手作業	導入後 手作業	削 減 時 間	削 減 率
メール添付ファイル の集約・集計	地域医療動向調査業務	175	25	△ 150	△ 86%
	教育補助金等国の各種照会業務（※）	315	15	△ 300	△ 95%
	県立学校等への各種照会業務	1,105	130	△ 975	△ 88%
	進学の流れ状況の照会業務	55	8	△ 47	△ 85%
	地域子ども・子育て支援事業補助金 申請・報告業務	35	10	△ 25	△ 71%
エクセルファイルの集計	厚生労働統計等の加工集計業務	138	73	△ 65	△ 47%
Web からの情報収集	経済・雇用情勢の調査業務（※）	420	48	△ 372	△ 89%
手書き帳票の OCR 読込	痰の吸引等に係る認定及び事業者 登録業務（※）	150	50	△ 100	△ 67%
全 体		2,393	359	△ 2,034	△ 85%

※一部業務については、今後の作業予定を含めた見込時間により算出

#### (2) その他導入効果

- ・作業ミスや入力誤りの削減
- ・業務プロセスの見直しによる事務負担の軽減
- ・月次作業等の自動化による業務の平準化

#### (3) 課題等

- ・業務作業手順(シナリオ)の修正作業等、職員のスキルの向上・習熟

作成年月日	令和2年10月12日
作成部局課	企画県民部企画財政局新行政課 企画県民部科学情報局情報企画課

### 3 令和2年度の取組方針

- ・令和2年度当初予算で導入予定の51業務に加え、令和2年度中に全庁の調査・集計業務等で費用対効果が高いと見込まれる業務で積極的に追加導入し、RPAを本格導入
- ・職員自らが作業手順(シナリオ)作成・修正を行うためのスキルの向上等を目的とした職員研修の充実
- ・県内市町への導入促進に向けて助言を行うとともに、市町連携の方策について調査研究するため新たに設置した研究会（地域課題解決に向けた市町連携のあり方研究会）において議論

#### [参考1：令和2年度導入予定事業]

類型	対象業務	業務数
メール添付ファイルの集約	・県立施設のバリアフリー情報に関する照会業務 ・国民健康保険実施状況の照会 ・児童養護施設入退所通知 等	25 業務
エクセルファイルの集計	・法人事業税月次データブック用データの集計 等	4 業務
webからの情報収集	・官報情報の収集 等	2 業務
手書き帳票のOCR読込	・身体障害者手帳の交付申請業務 等	9 業務
その他(証明書の発行等)	・介護員養成研修修了証明書発行業務 等	11 業務
計		51 業務

#### [参考2：年間作業時間削減見込]

区分	業務数	削減時間
R元年度	8 業務	△2,034h
R2年度	51 業務	* △7,029h
計	59 業務	△9,063h
本格導入分	(今後追加)	(今後追加時に算定)

\* 当初予算での試算値

(問い合わせ先)

企画県民部企画財政局新行政課組織・事務改革班

TEL:078-362-4041

企画県民部科学情報局情報企画課高度情報化班

TEL:078-362-3047